

2024.12.11

投手交代の場合、監督・コーチおよび捕手を含む内野手が
投手のもとに行ける回数の解釈について

2024 年度に一部改正された『社会人及び大学野球における試合のスピードアップに関する特別規則（以下、「特別規則」という）』について、監督またはコーチ、捕手を含む内野手がそれぞれ投手のもとに行ける回数を『カウント』するか否かの解釈を以下のとおり整理しましたので、周知徹底をお願いいたします。

1. 監督またはコーチが投手のもとに行ける回数

（特別規則「6」）

- ・ イニングの初めから投手交代を行い、そのままファウルラインを越えてマウンドに向かった・・・カウントする
 - ・ イニングの途中で投手交代（マウンドに行く前、行った後の交代通告に関係なく）・・・カウントしない（ただし、そのまま新しい投手が準備投球開始後も留まっていた場合はカウントする）
- ※監督またはコーチが伴えば、内野手（捕手を含む）が投手のもとに行くことは許され、集まれる人数に制限はない。（特別規則「10」）

2. 内野手（捕手を含む）のみが投手のもとに行ける回数（1 イニングに 1 回、1 人のみ）

（特別規則「10」）

- ・ イニングの初めから投手交代があり、監督またはコーチはマウンドに行かずに内野手（捕手を含む）がサイン確認のため、マウンドに向かう場合
 - ① 交代の通告から 1分40秒（審判員の「準備投球ワンモアピッチ」）のサインが示される前までに捕手がキャッチャースボックスに戻っていない。
 - ② 審判員の ワンモアピッチのサイン後に内野手（捕手を含む）がマウンドに向かった。上記①および②のいずれかに該当すれば、野手の回数にカウントする。
- ・ イニングの途中で投手交代があり、監督またはコーチはマウンドに行かずに内野手（捕手を含む）がサイン確認のため、マウンドに向かう場合
イニングの初めと同様、上記①および②いずれかに該当すれば、野手の回数にカウントする。

【注】 球審は捕手に『ワンモアピッチのサインが出る前までにキャッチャースボックスに戻らないとカウントする（すでに野手のタイムを使い果たしている場合はキャッチャースボックスに戻らなければならない）』旨を伝える。

以上